

# 宮城

MIYAGI

## 進化し続ける防災体制を目指して

セイコーインスツル株式会社 仙台事業所 ME 管理部 ME 総務 G 課長 八代 一輝

1998年6月、当事業所は太白区西多賀から現在の青葉区上愛子、松原工業団地に移転して参りました。当時は建屋一棟でのスタートでしたが、お陰様で今では敷地内に四棟の工場（一棟は免震構造）を構えるまでに至り、業容の拡大と共に、並行して「防災体制」についても前向きに取り組み、進化を遂げてきました。

### 1. 防災体制

当社の防災組織は、「防災本部」「消火器班」「消火栓班」「避難本部班」「工作班」「救護班」「警備班」の役割に大きく分かれており、それぞれ職制上の各部門が、その役割を担う体制となっています。各班は各部門から選出される班員で構成され、総勢60～70人が有事の際に行動をとることになります。また、各部門内で、班のスキル・技術の伝承を行うことを基本に、役割の専門性と意識の強化を目指しております。

### 2. 防災に対する基本的な考え

体制を整えるに当たり、現実には有事が起きたときに意識するよう組織全体で心掛けています。火災訓練は毎回、今まで設定したことのない場所を火元として設定し、新たな課題が顕在化しやすい状況をつくり出し、改善につなげています。訓練前には、事務局と各班とで、新たな火元での実際の動きを確認し、机上でのディスカッション等も行いながら、より現実的な想定を行って頂きます。また、各班の担当が不在の場合も想定し、主担当だけでなく代行者が役割を担う訓練も心掛けています。

### 3. 防災活動（実績）

上述した体制、考えに基づき、次のような活動を行っております。



初期消火訓練



けが人搬送訓練



避難・点呼・報告訓練

- ・総合防災訓練（1回／年）  
〔緊急地震速報装置の訓練モード活用、火元対応、警報ボタン、社内放送、初期消火、消防通報、避難、けが人搬送、点呼、報告〕
- ・夜間防災訓練（1回／年）〔人員が少ない体制での対応訓練〕
- ・社内消火栓（放水）訓練（1回／年）〔消火栓班による部分訓練〕
- ・防災安全協会主催による防災技術研修会への参加（1回／年）  
〔平成30年度は「消火器男子の部」で最優秀賞、「消火栓男子の部」で優秀賞を受賞〕
- ・救命講習（1回／年）〔各部門から未受講者1名を選抜し、多くの従業員が受講〕

これらの活動は毎年作成される年度計画に盛り込むことで確実に実施され、都度、振り返りを行うことで次回の改善につなげていくようにしています。

### 4. 情報の共有と「見える化」

当社には、構内に協力会社も常駐しております。会社は違えど同じ屋根の下、防災（安全）に関しては情報を共有し、訓練にも参加いただくことで連携を深め、実際の有事に備えています。また、主要防災備品が、どこに何個常備してあるか、「工場レイアウト図」（工程内の要所に掲示）に表示し、誰もが迅速に対応できるよう「見える化」しています。

### 5. これから

これまで述べさせていただいた通り、セイコーインスツル仙台事業所は、繰り返し訓練による有事の際の迅速な行動の体得と、完璧な備えはあり得ないという意識を持ち、常に新たな課題を抽出・改善し続けることで、今後もスパイラルアップしながら進化を目指していきたいと思っております。